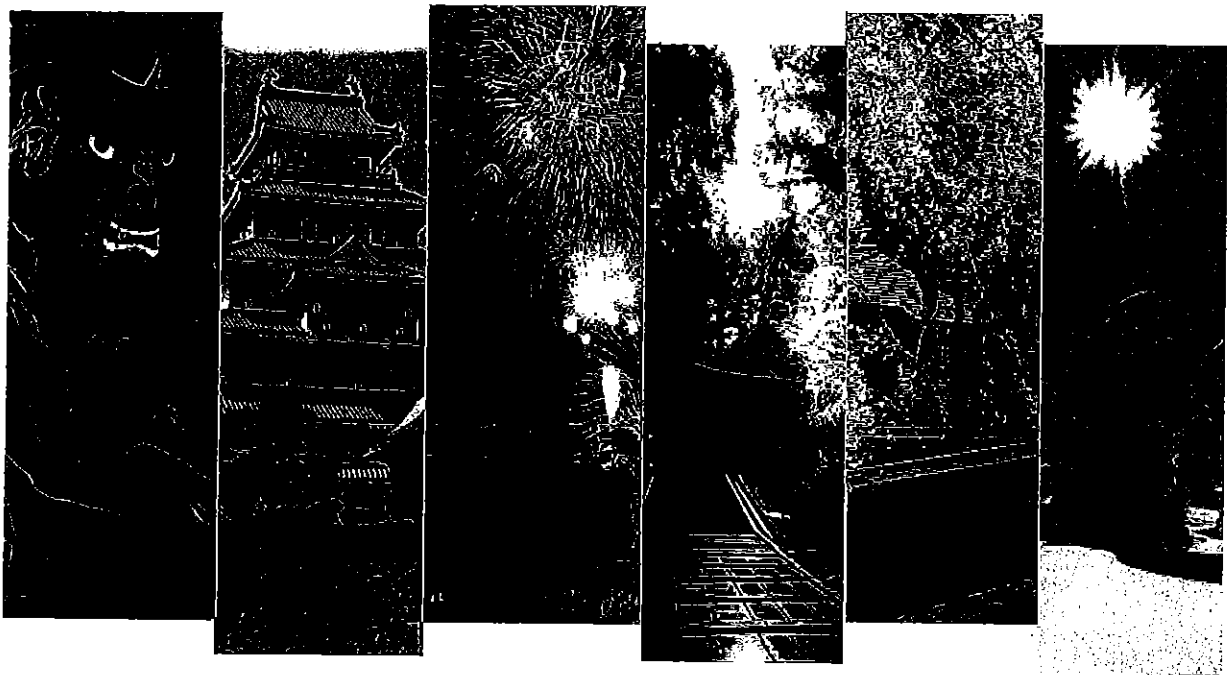


東日本大震災復興支援『がんばろう 東北!』

第10回 障がい者スポーツ指導者全国研修会

全体テーマ：「東北発！日常的な運動プログラム作り」



期 日 : 平成26年11月22日(土)・23日(日)

会 場 : 公立大学法人 会津大学

主 催 : 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会

後 援 : 福島県(予定)

主 管 : 第10回障がい者スポーツ指導者全国研修会実行委員会

協 力 : 会津大学 / 公益財団法人福島県障害者スポーツ協会

東北ブロック障害者スポーツ指導者協議会

東日本大震災復興支援 『がんばろう 東北！！』

第10回 障がい者スポーツ指導者全国研修会 募集要項

全体テーマ「東北発！日常的な運動プログラム作り」

1. 目的 障がい者スポーツ指導者が、研修において様々な情報を得ることにより、地域での活動や指導に伴う不安を解消し、今後の活動に対する意欲を高めると共に、指導者の資質向上につなげることを目的とする。
2. 主催 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
3. 後援 福島県（予定）
4. 主管 第10回障がい者スポーツ指導者全国研修会実行委員会
5. 協力 公立大学法人会津大学 公益財団法人福島県障害者スポーツ協会
東北ブロック障害者スポーツ指導者協議会

6. 日程

11月22日（土）

受付	11：45～12：30	（場所：会津大学講堂）
開講式	12：30～12：50	
シンポジウム	13：00～14：15	
分科会	14：30～17：30	（場所：会津大学講義棟）
交流会	19：00～20：30	（会津若松ワシントンホテル※駐車場有）

11月23日（日）

分科会	9：00～12：00	（会津大学内各会場にて実施）
散会	12：15～	閉講式はありませんので、順次解散となります。

7. 会場

公立大学法人会津大学 校舎および体育館
〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀
（学内に無料駐車場100台分有。西側駐車場をご利用ください）

8. 内容

[シンポジウム]

総合司会：植田 シンポジウム進行：矢吹 アドバイザー：水原 シンポジスト：（三浦）（池田）（増子）

テーマ： 地域における日常的なスポーツ活動の場づくりと人材育成

[分科会]

分科会テーマ	研修内容
第1分科会 知的・発達障がい者のスポーツ ～効果的な指導と支援の方法～ 講師：太田 澄人 （長野県障がい者福祉センター サツパル） コーディネーター：小田 智佳（研修部会）	スポーツ指導の現場では（支援学校、支援学級などでの体育の時間や競技スポーツチームなど）では「知的障害のある人」と「発達障害のある人」は一緒に活動する場面が多くみられます。 本分科会では、それぞれの障がいのある人たちがスポーツをする意義と効果、また指導上の留意点について学び、スポーツの楽しさが実感できるような、わかりやすい指導の方法について考えていきます。

<p>第2分科会 <u>高齢障がい者のスポーツ</u> <u>～効果的な指導方法と支援の方法～</u> 講師：伊藤 秀一（リハビリテーション体育リプライド） コーディネーター：永野 典嗣（研修部会）</p>	<p>高齢障がい者（特に脳血管障害）の障がい特性からスポーツ、レクリエーションのあり方について学びます。 特に、日常生活において高齢者障がい者が楽しみながら主体的に取り組むことができるスポーツ・レクリエーションプログラムの作成や指導法について講義や実技を通して学習します。</p>
<p>第3分科会 <u>脳性まひ者のスポーツ・レクリエーションプログラムづくり</u> 講師：河合 俊次（大阪市厚生療育センター） （大阪市厚生療育センター厚生部 理学療法士） コーディネーター：松浦 孝明（研修部会） 成岡 洋介（研修部会）</p>	<p>脳性まひの人がスポーツに参加するための創意・工夫の仕方や、その意義、効果について学びます。 また、演習では脳性まひの人たちのスポーツ・レクリエーションについて、指導上の工夫、留意点を考慮したプログラムづくりのグループワークを行います。その後、発表、振り返りを行い、受講者の皆さんが実践に結びつけることを目指します。</p>
<p>第4分科会 <u>プールプログラム（水を用いた運動）</u> 講師：柳橋 千恵 （東京都障害者総合スポーツセンター） コーディネーター：櫻井 嗣久（研修部会）</p>	<p>水中運動は「浮力」「抵抗」「水流」など、水の特性を生かしたプログラム作りが必要です。個々の障がい特性や年齢、発達段階に合わせたプログラム作りでの基本的な理論や留意点を学ぶとともに、グループワークやディスカッションを通じて、その引き出しやヒントを増やしていきます。 二日目の実技ではプールに入り、実践を通して、水と運動の関係や様々な浮き具を使ったプログラムを受講者自らが身をもって体験し、現場で応用できることを目指します。 ※水着と帽子を各自ご準備ください。</p>
<p>第5分科会 <u>屋内で手軽にできる運動</u> 講師：佐藤 敬広（東北文化学園大学） コーディネーター：棟 智恵子（研修部会）</p>	<p>私たちは、生活環境の変化が長期間続いたり、「移動」に困難性が生じたりすると、日常生活の制限や社会参加に制約が起こります。それは障がいの有無や年齢に関わらずレクリエーションやスポーツに触れ合う機会が減ってしまうこととなります。身体を動かす機会の減少は周囲とのコミュニケーションの機会も少なくなり、生活不活発の悪循環が起こり、健康的な生活の維持が難しくなってしまう。 この分科会では、限られたスペース（屋内）でも、楽しく効果的にレクリエーションやスポーツを行うことで、ストレス等の解消につながり生活に意欲が持てるような具体的な運動プログラムについて考えていきます。</p>
<p>第6分科会 <u>障がい児と健全児の交流プログラム</u> 講師：安井 友康（北海道教育大学 札幌校） コーディネーター：金山 千広（研修部会）</p>	<p>2007年に特別支援教育が施行されてから、発達障がい児はもとより、障がいのある子どもとない子どもが一緒に活動する機会が増えていきます。この分科会では、障がいの有無に関係なく、子どもたちが交流できるような、スポーツ・レクリエーションプログラムの作成や指導方法を講義や実技を通して学びます。インクルーシブな体育授業の導入にも役立てましょう。</p>

9. 参加対象者 および 参加費

区分	対象者	参加費
①	障がい者スポーツ指導員（初・中・上級）・障がい者スポーツコーチ・障がい者スポーツトレーナー 障がい者スポーツ医 資格取得認定校 関係者（在学生以外）	3,000円
②	資格取得認定校 在学生	2,000円
③	その他（スポーツ推進委員、福祉施設関係者等の障がい者スポーツに関わりのある方）	4,000円

※キャンセルの場合は、研修会前日までに（公財）日本障がい者スポーツ協会（Tel. 03-5695-5420）までご連絡ください。なお、入金された参加費については、ご返金できませんのでご了承ください。

10. 申込方法

- 1) 所定の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、下記「申込書郵送先」へ郵送してください。(FAX不可)
※6つの分科会の中から、1つを選んでください。同テーマを2日にわたり、ご参加いただきます。
併せて「交流会(4,000円/人)」参加の有無についてご回答ください。参加希望者には別途詳細についてご案内いたします。
- 2) 申込書の郵送と併せて、下記の口座へいずれかの方法にて参加費をご入金ください。
※参加対象者の区分によって参加費が異なりますので、上記「9.参加対象者 および 参加費」をご確認の上、ご入金ください。
※参加費の入金・送付に伴う手数料および送料は各自でご負担くださいますよう、ご了承ください。

◆郵便振込にて参加費を入金する場合

《参加費入金先》 郵便振替の払込取扱票(郵便局青色振替用紙)をご使用ください。

口座記号・番号: 00100-7-466201

口座名義: 公益財団法人日本障害者スポーツ協会

※郵便振込の入金の際、通信欄に下記の内容を必ずご記入ください。

1. 第10回 障がい者スポーツ指導者全国研修会
2. 指導員登録番号(参加区分①の場合)

◆現金書留または郵便小為替にて参加費を入金する場合

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 スポーツ推進部 スポーツ推進課 宛

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-13-6 常和水天宮ビル3階

申込・入金締切 平成26年9月10日(水) <必着>

11. 受講決定
 - 1) 申込書の郵送および参加費の入金をもって、研修会の受講が決定となります。
 - 2) 受講決定者に対し、研修会の詳細案内を申込・入金締切後、14日以内に郵送いたします。
12. 報告書 本研修会の内容をまとめた報告書を販売いたします。なお、お届けは来年3月頃を予定しております。購入をご希望の方は、当日受付にてお申し込みください。(1冊2,000円)
13. キッズルーム 研修会期間中、会場内にキッズルームを設置いたします。ご希望の方は、参加申込書に必要事項をご記入ください。(お子様1人につき500円 ※当日会場にて現金払いとなります。)
※キッズルームの設置・使用料金等の決定内容は変更が生じる場合がございます。
14. その他 研修は2日目に実技を行います。筆記用具と上履き、運動に適した服を持参してください。なお、第4分科会プールプログラムに参加希望の方は、水着と帽子が必要になります。

○申込書郵送先ならびに問い合わせ先

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町2-13-6 常和水天宮ビル3階

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

スポーツ推進部 水原・小島(武)・竹下

(課直通)TEL: 03-5695-5420

第10回 障がい者スポーツ指導者全国研修会

参加申込書

ふりがな			性 別	男 ・ 女	生年月日	西暦19 年 月 日生
氏 名					登録番号 ※1	
参加対象 (該当に○)	① 3,000円	・ 障がい者スポーツ指導員 (・ 初級 ・ 中級 ・ 上級) ・ 障がい者スポーツコーチ ・ 障がい者スポーツトレーナー ・ 障がい者スポーツ医 ・ 資格取得認定校関係者※2 学校名: ()				
	② 2,000円	資格取得認定校在籍学生※2 学校名 ()	③ 4,000円	・ その他 職業等 ()		
入金方法 (いずれかに○)	1. 郵便振込 ・ 2. 現金書留または郵便小為替					
分科会テーマ 参加希望 ()	分科会テーマ①～⑥から1つを選び、その数字を左 () にご記入下さい。 ① 知的・発達障がい者のスポーツ～効果的な指導と支援の方法 ② 高齢障がい者のスポーツ～効果的な指導方法と支援の方法～ ③ 脳性まひ者のスポーツ・レクリエーションプログラムづくり ④ プールプログラム (水を用いた運動) ⑤ 屋内で手軽にできる運動 ⑥ 障がい児と健常児の交流プログラム					
住 所 (通知送付先)	〒					
連絡先	TEL: ()			FAX: ()		
障がいの有無 (いずれかに○)	有 ・ 無			車椅子の有無 (いずれかに○)		有 ・ 無
障がい名 (有の場合)				手話通訳等の依頼 (必要な際は該当に○)		手話通訳 ・ 要約筆記
キッズルーム※3 (希望する場合ご記入ください)	お子様人数 _____ 名 性別・年齢: [男 / 女 _____ 歳] [男 / 女 _____ 歳] [男 / 女 _____ 歳] ※3名以上ご希望の方は当欄余白にご記入ください。					
交流会の参加※4 (いずれかに○)	参加 ・ 不参加					
備 考						

上記の個人情報は、本研修会関係資料の送付および本事業を実施する際に利用させていただきます。

<記入上の注意>

※1. 障がい者スポーツ指導者資格所持者の方は登録証(カード)に記載された会員番号(登録番号)をご記入ください。ご不明の場合は、日本障がい者スポーツ協会(TEL:03-5695-5420)にご確認ください。

※2. 資格取得認定校在籍学生・関係者の方は学校名を必ずご記入ください。

※3. 希望される方には申込確認後、改めて申込書・誓約書を送付いたします。また、キッズルーム利用は原則、普通食を取れる未就学児及び小学生を対象とします。

※4. 参加希望の方に、交流会についての詳細を送付いたします。